

# 青梅市の慰靈碑・慰靈祭

2016（平成 28）年 8 月

作成：帝京大学総合教育センター 専任講師 浜井和史

終戦から70年以上が経過し、戦後生まれが人口の8割を占める今日、戦争は遠い昔の出来事として人々の記憶から次第に遠ざかりつつあります。青梅市では明治以来、1,309人もの方々が戦争で亡くなられました。これらの戦没者をお祀りするために、青梅市内には市や地域、民間による15基の慰霊碑が建立され、また各地区で毎年慰霊祭が行われています。こうした慰霊碑や慰霊祭は、地域における戦争の記憶を継承するうえでとても重要な役割を果たすものです。

本冊子は、現地調査を踏まえ、青梅市内に現存している慰霊碑と市内で行われている慰霊祭を記録し、戦争の記憶を次の世代に伝えることを目的としています。本冊子を手に取ることで、地域の戦没者を想起し、戦争と平和について改めて考えるきっかけとなれば幸いです。

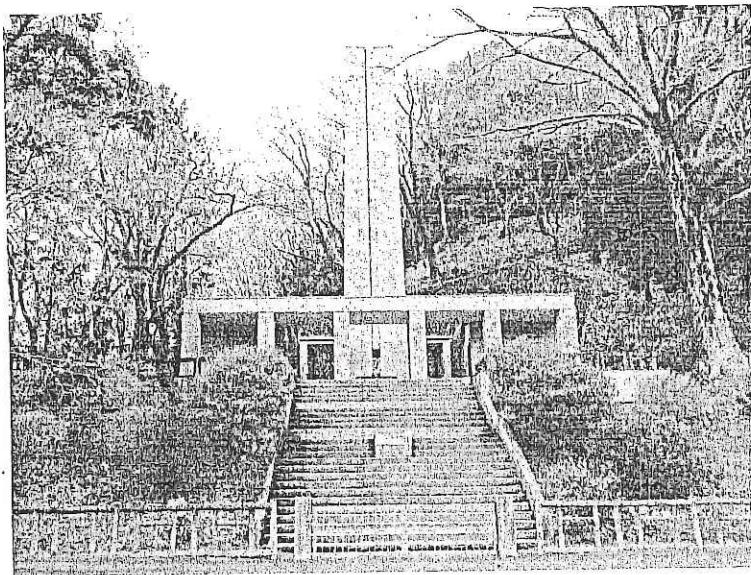
なお、本冊子で使用している写真はすべて著者が撮影したものです。

## 目 次

忠霊塔（青梅市本町・永山公園）	2
忠魂碑（青梅市本町・永山公園）	3
第二次世界大戦従軍記念碑（青梅市裏宿・七兵衛公園）	4
殉国慰霊塔（青梅市長渕・調布苑地／墓地公園）	5
忠魂（青梅市長渕・天祖神社）	6
戦没者慰霊之碑（青梅市友田町・花蔵院）	7
忠魂碑（青梅市野上町・春日神社）	8
戦没者慰霊之碑（青梅市新町・東禅寺）	9
慰霊塔（青梅市梅郷・梅郷地区戦没者慰霊之地）	10
表忠碑（青梅市梅郷・梅郷地区戦没者慰霊之地）	11
忠霊塔（青梅市沢井）	12
忠霊塔（青梅市小曾木）	13
彰忠碑（青梅市黒沢・秋葉神社）	14
忠霊塔（青梅市成木）	15
忠魂碑（青梅市成木）	16
青梅市戦没者追悼式（青梅市民会館ホール）	17
青梅市戦没者遺族会第1支部 春の追悼式（青梅市民会館）	17
調布地区戦没者追悼式（調布苑地）	18
青梅市戦没者遺族会第3支部 春の慰霊祭（霞共益会館）	18
梅郷地区戦没者慰霊祭（梅郷市民センタ一体育館）	19
三田地区戦没者慰霊祭（沢井市民センター多目的室）	19
小曾木地区戦没者追悼式（小曾木市民センタ一体育館）	20
成木地区戦没者追悼式（成木市民センタ一体育館）	20

## 忠靈塔

(青梅市本町・永山公園)

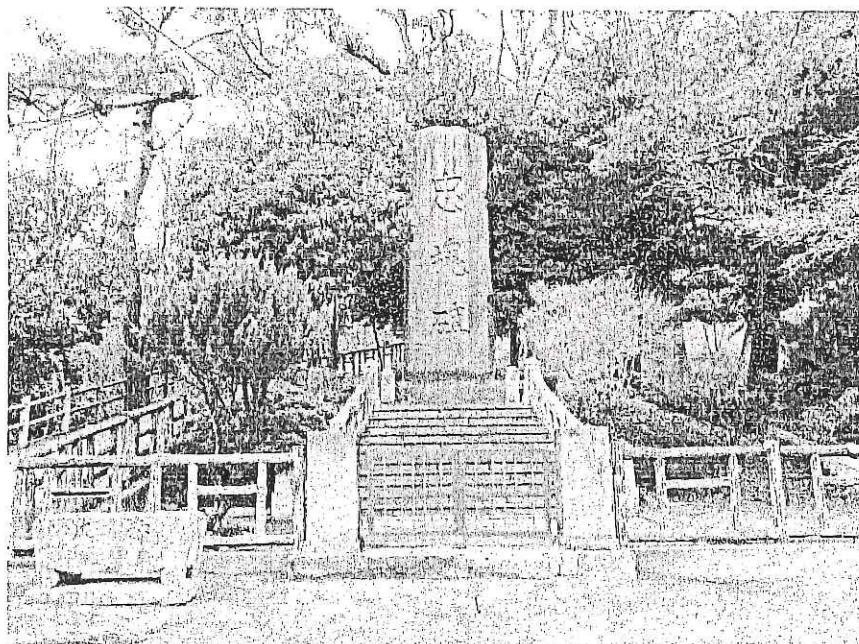


- 建立年月：1959（昭和34）年4月
- 碑 銘：殉國の英靈を此処に祀る
- 揮 毫：靖國神社宮司 筑波藤麿 書
- 建 立 者：青梅市忠靈塔建設委員会
- 戦 没 者：青梅市の全戦没者 1,309柱（塔内には、西南の役・日清戦争・日露戦争・シベリア出兵・満洲事変・日中戦争・太平洋戦争の戦没者の芳名を刻んだ銘板が、市内地域別・戦争別に納められている）
- 三島由紀夫『宴のあと』には、主人公（かづ）が本忠靈塔の定礎式に参加した状況が描写されている。  
「…果して山上の公園の眺めは、かづの心を魅した。忠靈塔の礎の前で少し泣き、公園の広場の中央に立てた櫓のまわりに群れ集うている民謡連盟の女たちに少し微笑を見せたけれども、案内された小高い涼亭の上からの眺めは、日ごろの繁忙を忘れさせるほどであった。（中略）  
「いい景色ですね。なんていい眺望でしょう」  
「東京近郊にこの永山公園ほどの眺望は、ちょっと類がありませんでしょう」と助役が言った。

（三島由紀夫『宴のあと』新潮文庫、pp.129-130より）

## 忠魂碑

(青梅市本町・永山公園)



●建立年月：1918（大正7）年4月

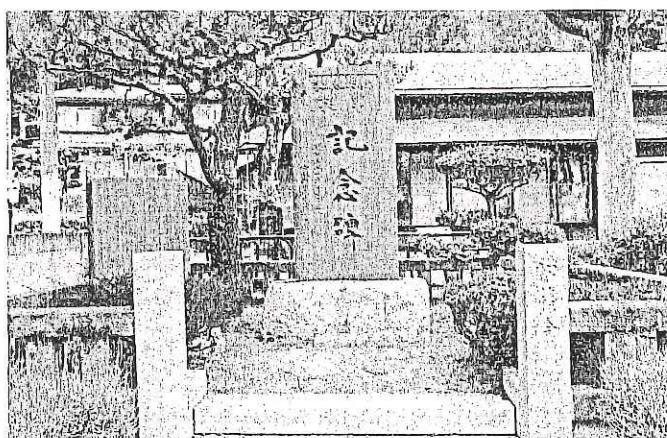
●碑 銘：忠魂碑

●揮 毫：元帥海軍大將 伯爵 東郷平八郎 書

●建 立 者：帝国在郷軍人会青梅町分会

●戦 没 者：旧青梅町の日清戦争・日露戦争の戦没者（碑の背面に芳名等が刻印）

## 第二次世界大戦従軍記念碑 (青梅市裏宿・七兵衛公園)



- 建立年月：1976（昭和 51）年 11 月 3 日
- 碑 銘：第二次世界大戦従軍記念碑
- 揮 毫：田野倉泰吉 書
- 建立者：裏宿松頬会
- 戦没者：陸軍 24 柱、海軍 3 柱（碑の背面に戦没者と松頬会会員の芳名が刻印）
- 碑 文：

裏宿松頬会は昭和三十四年十月十五日青梅市松頬会の結成と同時にその支部として発足した。

本会の目的は第二次世界大戦戦没者の御靈を慰め平和国家建設に寄与する事であり其の為私達は毎年二回春季彼岸には青梅市合同慰靈祭に参加秋季彼岸には町内遺族宅を訪問し香を獻じて懇にその靈を慰めつつ今日に至った。その間折に触れ会員一同上京し靖国神社に英魂を挙げ平和国家建設を誓つたのである。

もとより私達は軍國主義を懷古した謳歌してその再建を計ろうなど全く考えて居らず只戦争体験者として戦争の悲惨さと残酷さを二度と次代の人に繰り返させぬ一念にあり私達戦場より生還した者にとって是が最高の願いであると共に戦場に散った戦友への何よりの報いであると思っているのです。そして是が又社会に対する私達の感謝の勤めであると信じている。

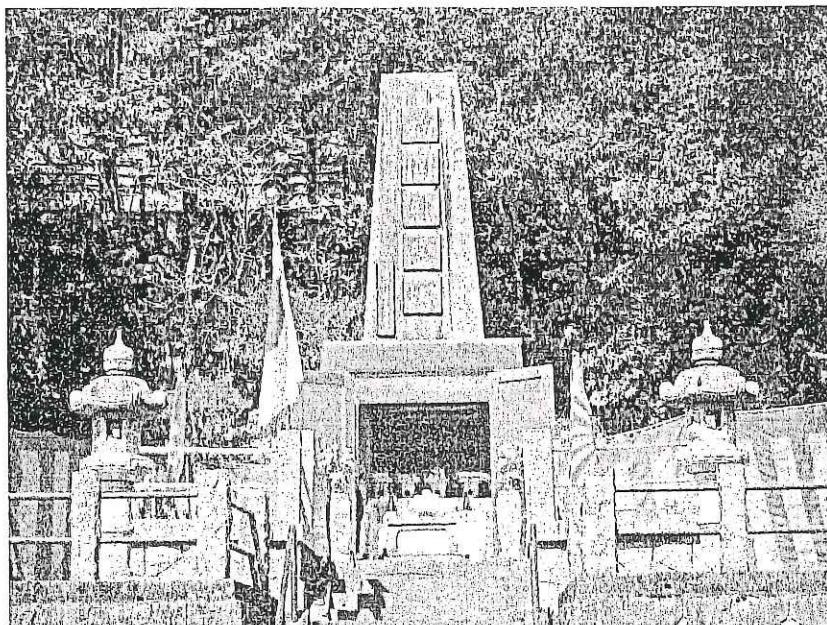
月移り年わりて会員もその齢を重ね中には世を去るものも出て発足以来二十年になんなんとする今日やがては消える本会の将来を想い茲に会員の精神と志を明らかにして戦没者並に会員一同の氏名を刻み再び戦争の悲劇を繰り返さぬ事を誓い未来永劫の平和国家建設を祈願しここに記念碑を建立する。

昭和五十一年十一月三日

裏宿松頬会

## 殉國慰靈塔

(青梅市長渕・調布苑地／墓地公園)



- 建立年月：1980（昭和 55）年 3 月
- 碑 銘：殉國慰靈塔
- 揮 毫：靖国神社権宮司 藤田勝重 書
- 建 立 者：長渕地区慰靈塔建設委員会
- 戦 没 者：調布地区の全戦没者（塔内に戦没者芳名の銘板が納められている）
- 碑 文：撰 文

身命を賭して国家の為に尽瘁された方々の功績と栄誉は永く後世にわたり頤彰せらるべきものである。

この故に、旧調布村の先輩たちは、元の役場前に忠魂碑を建立されたのである。

然るに大東亜戦争後、駐留軍司令官の通達により、これを撤去させられてしまつた。

我等後輩はこれを悲しみ、この度再建の計画を立てたところ、各方面より絶大なる御支援をいただき、茲に旧調布村即ち駒木野、上長渕、下長渕、友田、河辺、千ヶ瀬下、千ヶ瀬上の地域に属する西南の役より大東亜戦争に至る英靈二百四十三柱を祭神とする殉國慰靈塔の竣工を見たのである。

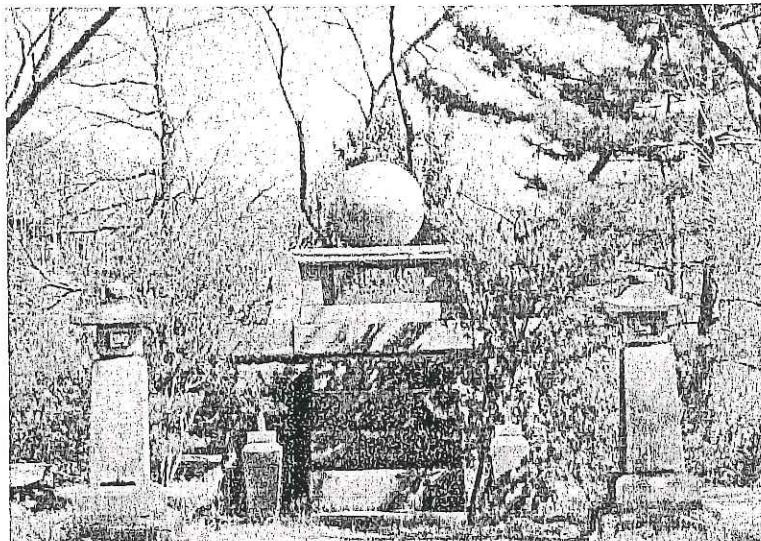
翼くは殉國諸英靈、この塔内にて安らかに眠らせ給え。

昭和五十五年三月吉賑

長渕地区戦没者慰靈塔建設委員会

# 忠魂

(青梅市長渕・天祖神社)



●建立年月：1963（昭和 38）年 8 月 25 日再建

●碑 銘：忠魂

●揮 毫：宮司 笹川治良 謹書

●建立者：忠魂碑再建委員会

●碑 文：撰文

明治維新の大業を遂げた我が国は西南の役の昔より日清日露の両役を経て国運頓に開け大勢のおもむくところ如何ともしがたく遂に太平洋戦争に突入するの已むなきに至った

我上長渕においてこれら累次の戦役に數多尊い生命を捧げられて祖国の礎となりなつかしの郷土を出でて帰らぬ殉国の士真に三十有余柱に及ぶ

國家を泰山の安きにおく報國の赤誠は何時の時代にも又洋の東西を問わずその偉功は永遠に輝きその勲績は万世に薰り千古不滅に顕彰される

吾等は茲に町民各位と相計りその靈を祀り慰むるにここ鎮山の台地長渕の家郷を仰瞰するこの淨地を撰んで靈域となしことに忠魂碑を再建する

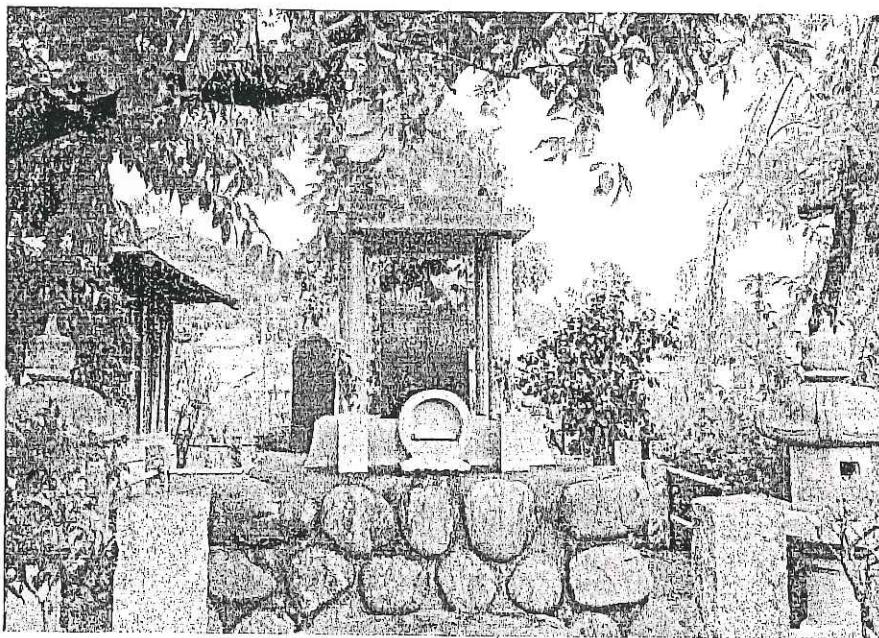
希くば英靈永久にここに神鎮まり給いて郷土を護り人類永遠の理想たる世界恒久平和の具現に指標を垂れ給わんことを

昭和三十八年八月二十五日

忠魂碑再建委員会

## 戦没者慰靈之碑

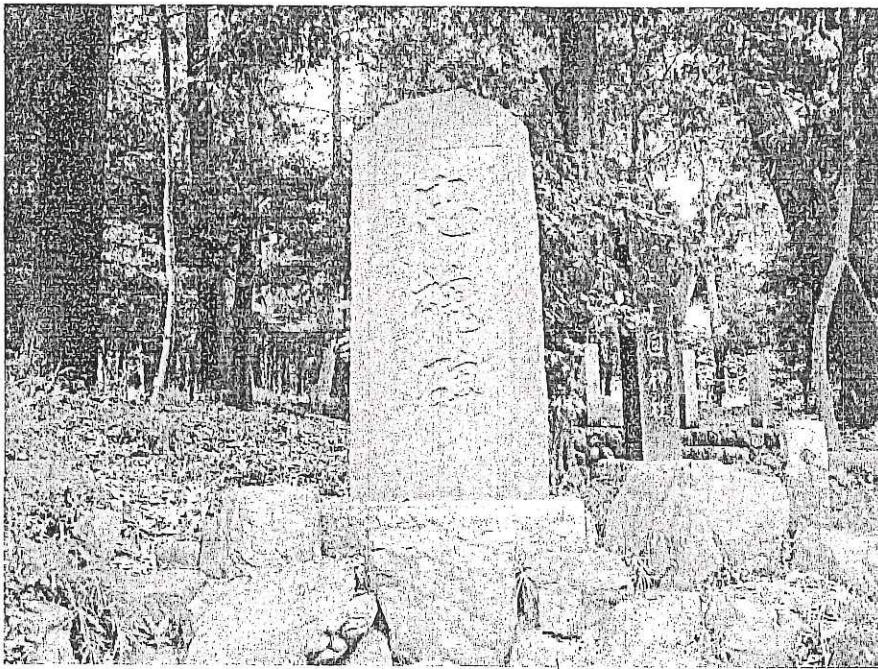
(青梅市友田町・花藏院)



- 建立年月：1968（昭和43）年3月
- 碑 銘：戦没者慰靈之碑
- 揮 毫：大僧正 了俊之 書
- 建 立 者：慰靈碑建設委員会
- 戦 没 者：46柱（碑の背面に戦没者の芳名・没年齢が刻印）

## 忠魂碑

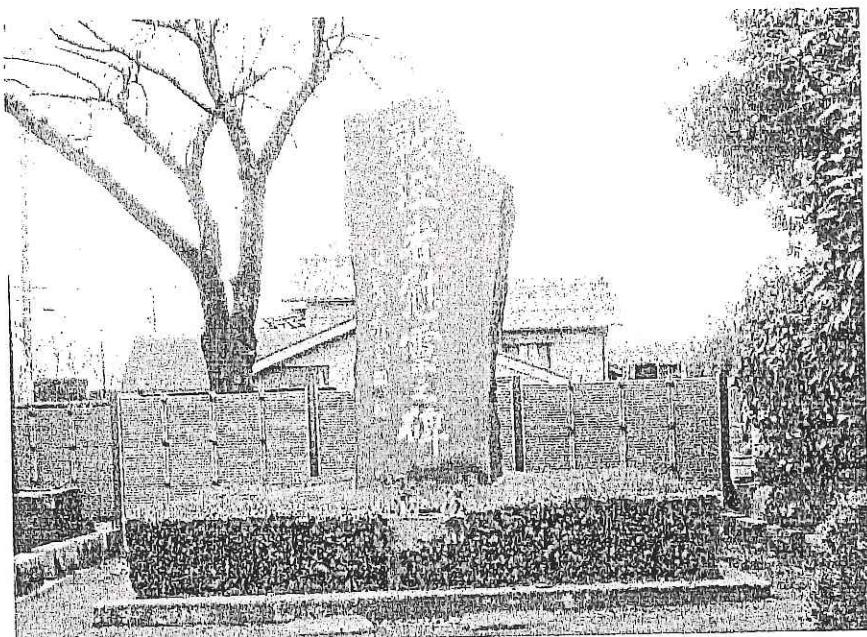
(青梅市野上町・春日神社)



- 建立年月：1914（大正3）年2月11日
- 碑 銘：忠魂碑
- 捷 毫：陸軍大將伯爵 寺内正毅 書
- 建立者：帝国在郷軍人会霞村分会
- 戦没者：旧霞村の日清戦争（5柱）・日露戦争（18柱）・第一次世界大戦（1柱）  
の戦没者および筑波艦の殉難者（1柱）（碑の背面に芳名等が刻印）
- ※ 日本海軍の巡洋戦艦「筑波」は、1917（大正6）年、横須賀港の火薬庫爆発  
のため沈没。

## 戦没者慰靈之碑

(青梅市新町・東禪寺)



④ 建立年月：1973（昭和 48）年 3 月

⑤ 碑 銘：戦没者慰靈之碑

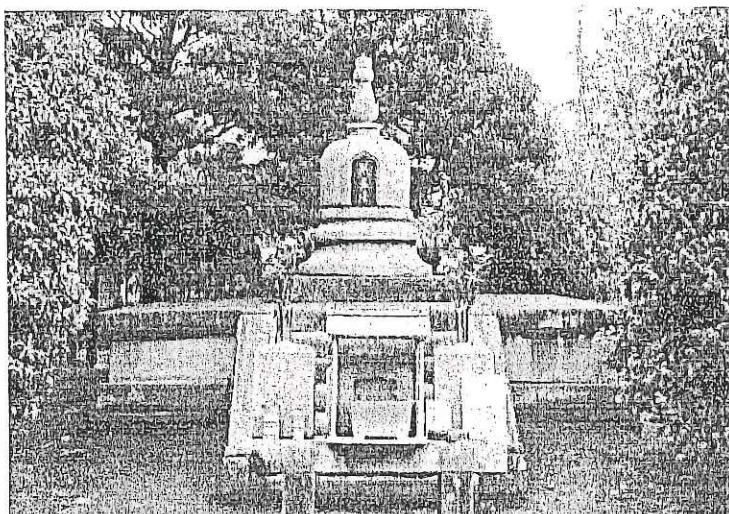
⑥ 挥 毫：建長 素堂 書

⑦ 建立者：関塚義治（施主）

⑧ 戦没者：日露戦争以降の戦没者 37 柱（碑の背面に戒名・芳名・没年月日が刻印）

## 慰靈塔

(青梅市梅郷・梅郷地区戦没者慰靈之地)



●建立年月：1954（昭和29）年6月30日

●碑 銘：慰靈塔

●揮 毫：靖国神社宮司 筑波藤麿 書

●建 立 者：吉野村慰靈塔建設委員会

●戦 没 者：梅郷地区の全戦没者（「英靈之名碑」  
に没年月日・芳名が刻印）

●碑 文：撰 錄

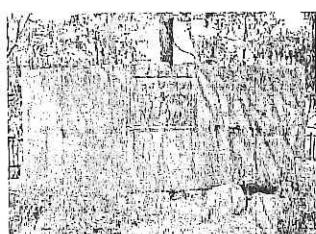
明治維新以来累次の戦役は国威を海外に輝かし  
國運隆々として世界を風靡するの概があった。然るに勢の赴くところ大東亜戦  
争の勃発となり一時全世界を震撼させたが天我に與せず數多の犠牲を出し昭和  
二十年八月十五日遂に終戦となり戦後国民は窮乏の極に陥ったが昭和二十七年  
四月二十八日占領治下の日本は平和国家として独立した。これと共に之等犠牲  
者に対する弔意の輿論は糾然として起り村民の誠意あふるる総意と淨財に依り  
聖地を選び爰に慰靈塔を建設することとなった。

適川上憲一氏より石材寄贈の申し出があり村長岩田佐一氏はこの石材を慰靈塔  
副碑として明治維新以来の戦没者の芳名を後世に貽すべく之が工事一切の経費  
を寄贈された。

茲に慰靈塔建設の経緯を録し以て後昆に伝うるものである

昭和二十九年六月三十日建立

吉野村慰靈塔建設委員会



英靈之名碑

## 表忠碑

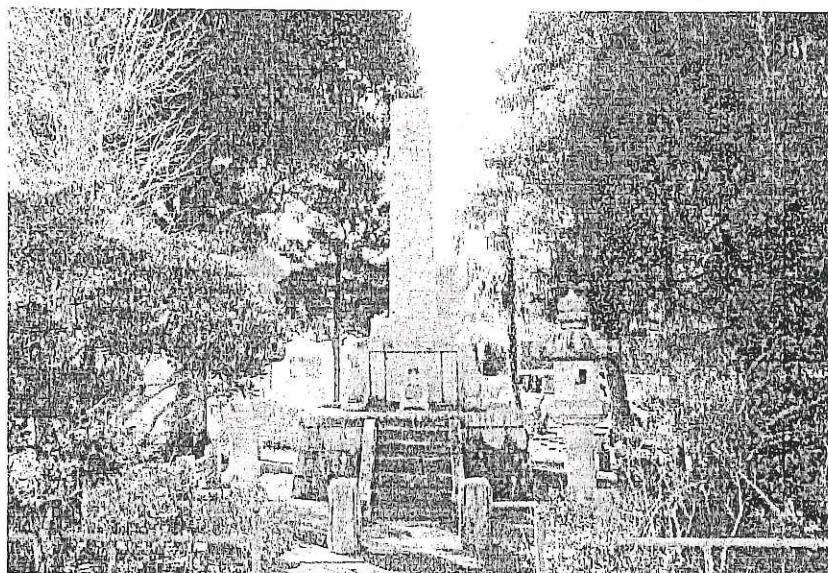
(青梅市梅郷・梅郷地区戦没者慰靈之地)



- 建立年月：1907（明治40）年10月16日
- 碑 銘：表忠碑
- 揮 毫：元帥公爵 大山巖 書
- 建 立 者：東京府西多摩郡吉野村
- 戦 没 者：旧吉野村の西南戦争・日清戦争・日露戦争の戦没者（碑の背面に芳名等が刻印）

## 忠靈塔

(青梅市沢井)



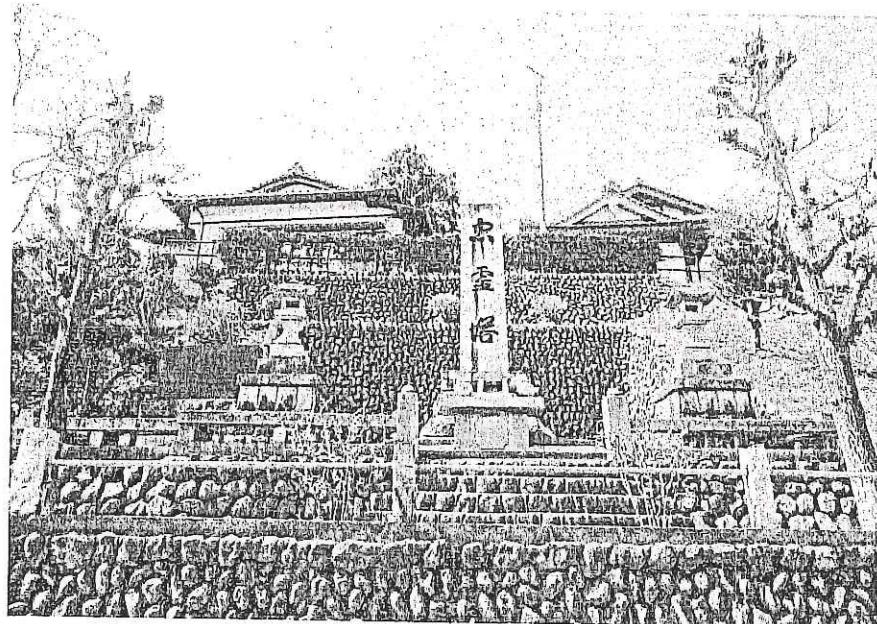
- 建立年月：1954（昭和 29）年 11 月
- 碑 銘：忠靈塔
- 挥 毫：靖国神社宮司 筑波藤麿 書
- 建 立 者：三田村忠靈塔建設委員会
- 戦 没 者：三田地区の全戦没者（塔内に戦没者芳名の銘板が納められている）
- 碑 文：

明治維新以来近代世界に地歩を踏み入れた我が日本は日清日露両役を経て國勢  
順に揚がったが満洲日華両事変に次ぐ第二次世界大戦及び太平洋戦争に至る大  
戦乱の結果はわが國威一転と共に世界の大勢を一変し幾多の独立国を生み戦争  
觀に一大転換を齊し恒久平和熱願の世界的風潮を昂揚した  
我が郷村百五十名に上る戦歿者各位は囊に國運進展の柱石となり近くは世界史大  
転機の礎石となられたものであつて其の尊貴なる英魂は生死を貫いて永くわが國  
民並びに人類の護りとなられたのである  
我等は夙にその偉功に報いるの志を懷きつゝ空前の悲運に際会した祖国の独立  
の日を迎へ爰に村民一体の微衷を結集し聖地をトして忠靈塔を建立し以て純忠  
至誠なる英靈の冥福を祈り併せて永遠の和平を希求してやまぬものである

昭和二十九年十一月 三田村忠靈塔建設委員会 小山文太郎 撰並書

## 忠靈塔

(青梅市小曾木)



- 建立年月：1955（昭和30）年3月
- 碑 銘：忠靈塔
- 揮 毫：靖國神社宮司 筑波藤麿 書
- 建 立 者：小曾木村
- 戦 没 者：小曾木地区の全戦没者
- 碑 文：

我が国は維新以来長足の進歩発展を遂げ近代国家の陣容を整えたことは世界の偉観とされたものであるされどその間避け難き幾多の戦乱を伴い国運を賭した大東亜戦争となり数知れぬ尊い生命が邦家の為に捧げられたわが小曾木村に於ても日清戦争以後軍勢に従事し国難に殉じた者實に百有余の多きに及んだ今や平和は回復され世を挙げて祖国の再建に邁進しつゝあるの秋我等村民の殉国勇士に対する追慕感謝の念愈々切なるものがあり併せて大青梅市四ヶ村合併に伴う本村の発展的解消を記念しその熱誠は直に凝つてこの雄偉な忠靈塔となつた国家に忠誠を尽し身を以つて平和の礎となつた英靈の功勳を永久に讃えると共に我が国の興隆と世界の恒久平和を希うものである

昭和三十年三月建

## 彰忠碑

(青梅市黒沢・秋葉神社)



- 建立年月：1908（明治41）年3月
- 碑 銘：彰忠碑
- 揮 毫：希典 書（陸軍大将 伯爵 乃木希典）
- 建 立 者：西多摩郡小曾木村大字黒沢凱旋軍人及有志
- 戦 没 者：日清戦争（1柱）・日露戦争（7柱）の戦没者（碑の背面に芳名等が刻印）

## 忠靈塔

(青梅市成木)



●建立年月：1954（昭和 29）年 12 月 25 日

●碑 銘：忠靈塔

●揮 毫：靖国神社宮司 筑波藤磨 書

●建立者：東京府西多摩郡成木村

●戦没者：成木地区の全戦没者

●碑 文：

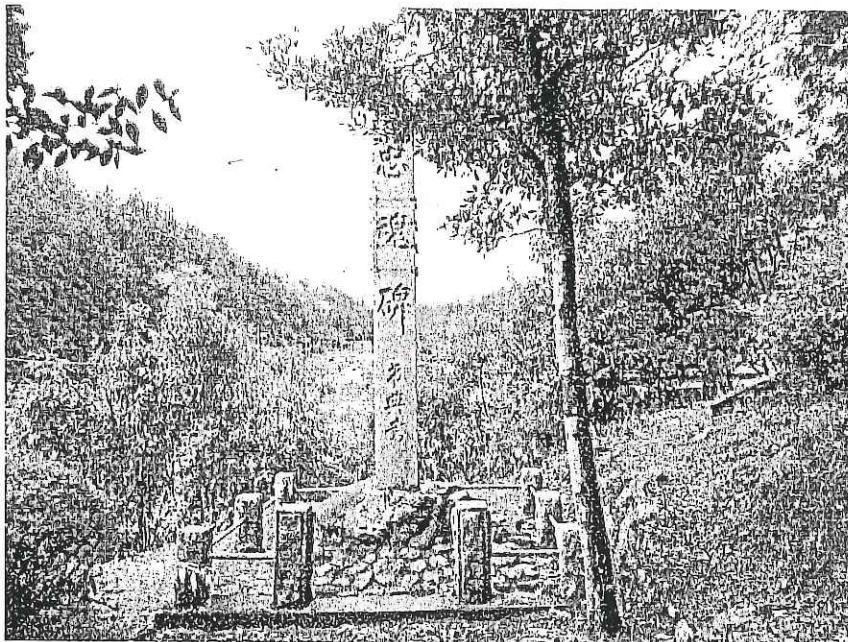
明治維新以来我が国は世界列国に伍して劣らぬ近代国家として長足の進歩を遂げた。一世紀にもみたぬ短日月の間に於るこの飛躍的発展は特に世界の驚異ともいいうべき偉観であったがその反面列国間に於る樽組接衝の道整わづ幾度か戦乱の渦中にまきこまれざるを得なかつたことは真に痛恨の極みであった。殊に最近に於ては第二次世界大戦に参加するのやむなきに至り上下一致國運を堵して未曾有の難局と戦ひ數知れぬ尊き生命が邦家のために捧げられたのである。我が郷土に於ても支那事変以後軍務に従事し國難に殉じた將兵の數實に百有余の多きに及んだ。今や平和は回甦せられ世を挙げて祖国の再建に戮力しつゝあるの秋我等村民の殉國勇士に対する追慕感謝の念愈々切なるものがありその熱誠は真に凝つてこの雄偉なる忠靈塔とはなつた國家に忠誓をいたし社会に奉公し一身を犠牲として文化國家建設の礎をきづいた英魂の偉功を讃仰し千秋に伝えて以て祖国の興隆と世界の恒久平和を希う。在天の御靈幸に村民の微志の上に神護を垂れ給わんことを

昭和二十九年十二月二十五日建之

東京都西多摩郡成木村

## 忠魂碑

(青梅市成木)



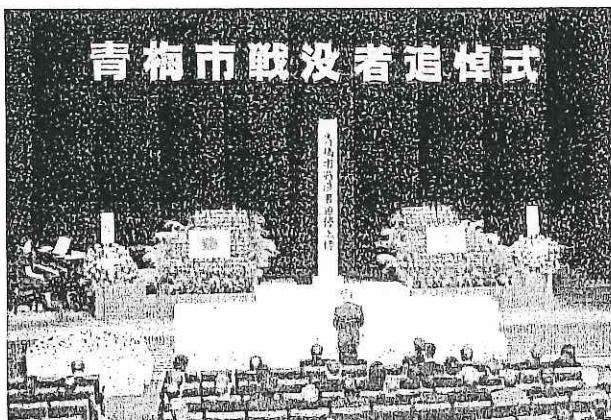
- 建立年月：1907（明治40）年3月
- 碑 銘：忠魂碑
- 捷 章：希典 書（陸軍大將 伯爵 乃木希典）
- 建 立 者：成木村・成木村在郷軍人団
- 戦 没 者：旧成木村の日清戦争（1柱）・日露戦争（19柱）の戦没者（碑の側面に芳名が刻印）

青梅市では、毎年 10 月に市主催の戦没者追悼式が開催されているほか、毎年 3 月に旧青梅町・旧調布村・旧霞村・旧吉野村・旧三田村・旧小曾木村・旧成木村の旧町村単位の各地区で慰靈祭が行われています。

※ 青梅市は、1951（昭和 26）年に青梅町・調布村・霞村が合併して成立し、1955 年に吉野村・三田村・小曾木村・成木村を編入しました。

### 青梅市戦没者追悼式

（於・青梅市民会館ホール）



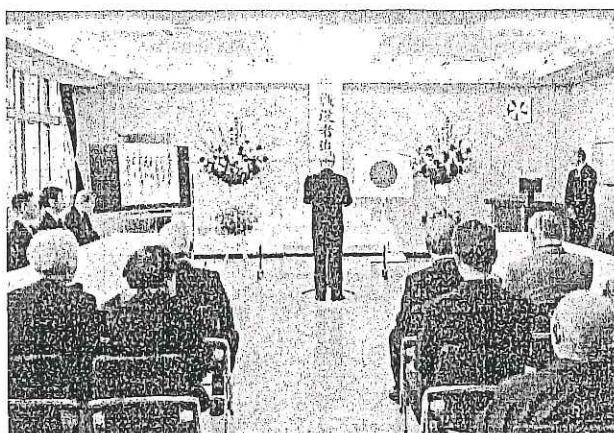
(2015 年撮影)

#### 【式次第】

- 国歌斉唱
- 默とう
- 式辞（青梅市長）
- 来賓追悼のことば  
（青梅市議会議長）
- 遺族代表追悼のことば  
（遺族会支部長）
- 献花

### 青梅市戦没者遺族会第 1 支部 春の追悼式

（於・青梅市民会館）

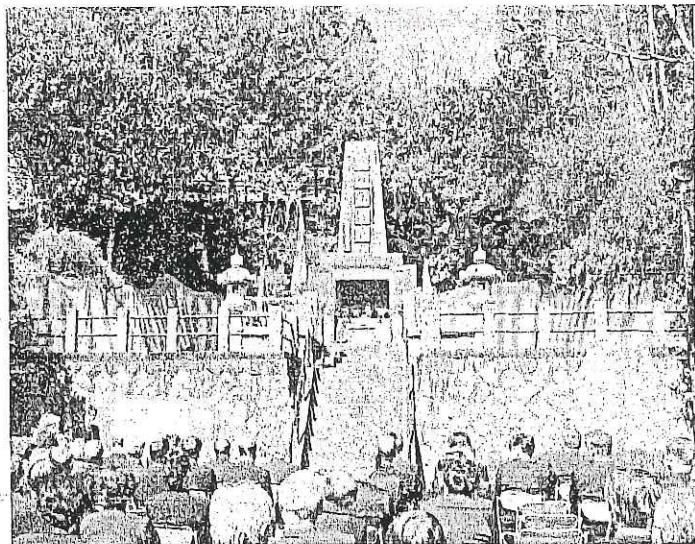


(2015 年撮影)

#### 【式次第】

- 開式のことば
- 国歌斉唱
- 黙祷
- 式辞
- 来賓追悼のことば
- 献花
- 閉式のことば

## 調布地区戦没者追悼式 (於・調布苑地)



【式次第】  
点灯  
国歌斎唱  
開式のことば  
式辞  
默とう  
市長追悼のことば  
来賓追悼のことば  
献花  
献電  
謝辞  
閉式のことば

(2015年撮影)

## 青梅市戦没者遺族会第3支部 春の慰靈祭 (於・霞共益会館)



【式次第】  
開会のことば  
国旗挙げ  
黙祷  
追悼のことば  
来賓挨拶  
献花  
閉会のことば

(2015年撮影)

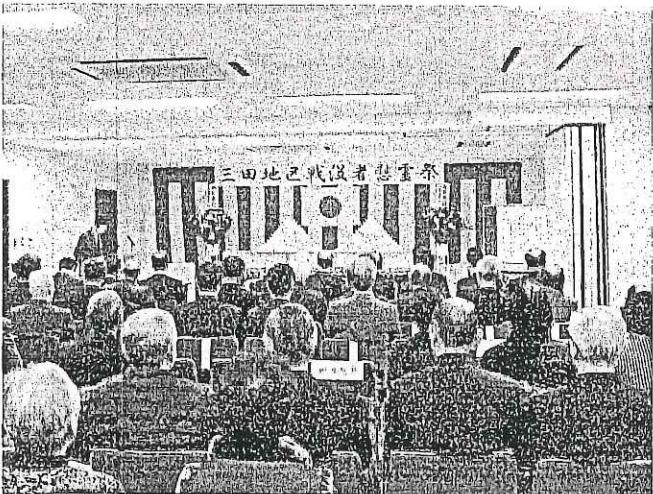
## 梅郷地区戦没者慰靈祭 (於・梅郷市民センター体育館)



(2015年撮影)

- 【式次第】
- 開式
  - 国歌斉唱
  - 開式のことば
  - 式辞
  - 默とう
  - 来賓追悼のことば
  - 来賓紹介
  - 吟詠
  - 電報献呈
  - 遺族代表お礼のことば
  - 献花
  - 閉式のことば

## 三田地区戦没者慰靈祭 (於・沢井市民センター多目的室)



(2016年撮影)

- 【式次第】
- 開会の言葉
  - 君が代斉唱
  - 黙祷
  - 主催者追悼の言葉
  - 来賓の追悼の言葉
  - 電報披露
  - 献花
  - 三田地区遺族代表  
　あいさつ
  - 閉会の言葉

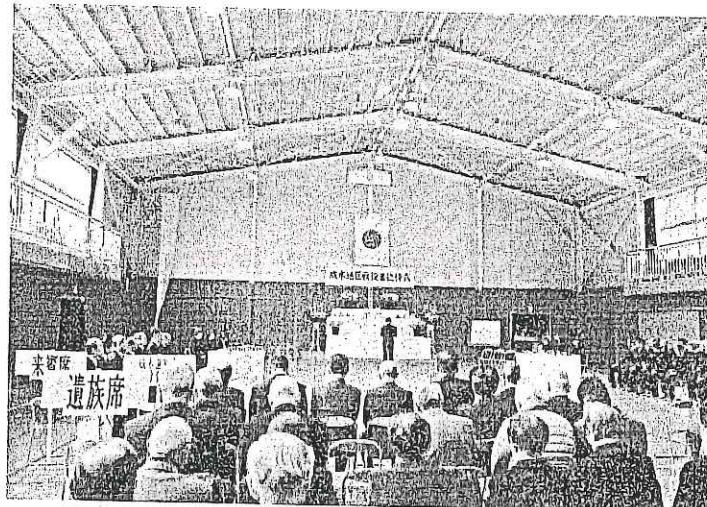
## 小曾木地区戦没者追悼式 (於・小曾木市民センタ一体育館)



(2015年撮影)

- 【式次第】  
国歌斉唱  
開式の辞  
式辞  
黙祷  
来賓追悼の辞  
献花  
遺族代表挨拶  
閉会の辞

## 成木地区戦没者追悼式 (於・成木市民センタ一体育館)



- 【式次第】  
国歌斉唱  
開式のことば  
式辞  
黙祷  
追悼のことば  
献花  
遺族代表謝辞  
閉式のことば

(2016年撮影)

#### ⑥参考文献

- ・靖国神社編『東京都忠魂碑等建立調査集』(靖国神社社務所、1995年)
- ・青梅市市役所秘書広報課編『戦後六十五周年 戦争体験集～私たちの記憶～』  
(青梅市市役所秘書広報課、2010年)
- ・青梅市市役所秘書広報課編『戦後七十年 未来に語り継ぐ私たちの体験～平和への祈り～』(青梅市市役所秘書広報課、2016年)

#### 【謝辞】

市内各地区の慰霊祭の取材や慰霊碑の調査にご協力いただいた皆様に、心より  
御礼申し上げます。

#### 青梅市の慰霊碑・慰霊祭 (非売品)

2016 (平成 28) 年 8 月 15 日発行 不許複製・禁無断転載

本冊子についてお気づきの点や、青梅市の慰霊碑・慰霊祭に関する情報・資料  
などがありましたら、下記までご連絡ください。

〒192-0395 東京都八王子市大塚 359

帝京大学総合教育センター (浜井)

TEL: 042-678-3560

E-Mail: [khamai@main.teikyo-u.ac.jp](mailto:khamai@main.teikyo-u.ac.jp)